

**授業概要**

小学校学習指導要領を概説するとともに、教科書に取り上げられている教材を詳説する。その際には、可能な限り観察や実験を取り入れて指導する。そして、小学校において理科を指導する上で必要となる知識や技能、安全面での配慮事項など、教師として体得しておくべき基本的な素養の育成をはかる。

**授業計画**

第 1 回	オリエンテーション, 小学理科の概要
第 2 回	学校および小学校学習指導要領における理科教育の目標
第 3 回	小学校理科の学習内容 (A区分・B区分)
第 4 回	実験器具の取り扱い方と安全教育
第 5 回	A区分「物質・エネルギー」に関わる基本的事項「物体の運動」
第 6 回	A区分「物質・エネルギー」に関わる基本的事項「電気, 磁石」
第 7 回	A区分「物質・エネルギー」に関わる基本的事項「光, 物質の性質」
第 8 回	A区分「物質・エネルギー」に関わる基本的事項「物質の変化」
第 9 回	B区分「生命・地球」に関わる基本的事項「植物の成長, 生物と環境」
第 10 回	B区分「生命・地球」に関わる基本的事項「動物の成長, 人の体のつくり」
第 11 回	B区分「生命・地球」に関わる基本的事項「大地の構成とその変化」
第 12 回	B区分「生命・地球」に関わる基本的事項「天気とその変化」
第 13 回	B区分「生命・地球」に関わる基本的事項「太陽, 月, 星の動き」
第 14 回	理科における環境教育と野外観察の方法
第 15 回	まとめ
第 16 回	学期末試験

上記のうち, 第 4 回から第 14 回の講義にかけて, 実習や実験および野外観察を取り扱う。

**到達目標**

1. 小学校理科の各分野にわたる基礎的な教授内容を理解する。
2. 学習指導要領理科の目標, 小学校理科の内容の構成と各学年の目標をふまえながら, 児童の自然認識の形成を図る基本的な指導法を習得する。
3. 小学校理科で取り扱われる実験の基本的な操作, 危険の回避, 実験準備の注意点, 考え方などを理解する。
4. 児童が体験することが予想される身の回りの事物・現象, 自然とのふれ合いについて考える。

**履修上の注意**

本授業では, 実験・観察を取り入れることが多い。説明を聞かずに取り組むと事故につながることもあるので, 原則として遅刻は認めないので留意すること。

**予習・復習**

本授業では, 知識や実験の技能の定着を図る小テストを第 2 回目以降毎回行う。したがって, それに対応できるように特に前時の復習に力を入れ, 本時の授業に臨むことが重要である。

**評価方法**

授業への参加状況を授業中の課題や実験への取り組みなど (20%) により評価し, 教師として必要な知識と技能の取得状況を定期試験 (70%) と小テスト (10%) により評価する。

欠席が 1/3 を超えた場合は, 原則として評価の対象とはしないので充分注意すること。

**テキスト**

- ・教科書名: 『文部科学省検定済み教科書「たのしい理科」(小学校 3~6 年)』の 4 冊
- ・著者名: 大日本図書
- 参考資料: 文部科学省『小学校学習指導要領』『小学校学習指導要領解説 理科編』(最新版)